



**Japan.** “Kampai” to the world.

# 清酒製造業者の輸出概況 (平成 28 年度調査分)

平成 30 年 3 月  
国税庁課税部酒税課

## 1 調査の概要

### (1) 調査対象者及び調査方法

調査対象者は、平成 28 年 10 月 1 日現在で、清酒の製造免許を有する清酒製造業者(清酒製造業者が主となって組織する清酒の共同びん詰事業を行っている者を含み、試験製造及び期限付免許者を除く。)とする。

調査方法は、書面によるものとし、調査対象者に任意での提出を依頼した。

### (2) 有効回答数及び有効回答率

有効回答数及び有効回答率は、以下の表のとおりである。

	母集団の全数	有効回答数	有効回答率
清酒製造業者数	1,610	1,466	91.1%

### (3) 調査項目

調査項目は以下のとおり。

なお、各項目を集計の上、分析した結果については「4 調査結果」に記載している。

① 平成 28 年中の清酒の輸出の有無(全ての者を対象)

② (①にて「継続」と回答した者を対象)

- 1 清酒の輸出の取引年数
- 2 平成 27 年と比較した場合の輸出量の増減
- 3 輸出量が前年よりも増加した理由(②-2にて「増加」を選択した者を対象)
- 4 輸出量が前年よりも減少した理由(②-2にて「減少」を選択した者を対象)

③ (①にて「継続」・「新規」を選択した者を対象)

- 1 輸出先国での主な販売先
- 2 主な流通経路
- 3 今後、輸出量を増加させるために必要な事項
- 4 今後の輸出の意向

④ (①にて「休止」・「無」を選択した者を対象)

- 1 輸出を取り止めた又は行わない理由
- 2 今後の輸出の意向

⑤ 訪日外国人の自社の見学・来訪(全ての者を対象)

## 2 調査対象期間

調査対象としたのは、平成 28 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの輸出取引である。

## 3 集計上・利用上の留意点

(1) 本文及び図表中の数値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合がある。

(2) 複数回答の設問においては、回答率の合計が 100.0%を上回る場合がある。

(3) 回答があった者のうち、平成 28 年中の清酒の輸出が有と回答した清酒製造業者を「輸出製造業者」、輸出製造業者が輸出した清酒の数量を「輸出数量」と定義している。

(4) 平成 27 年度の清酒の課税移出数量が 1,300kl 以下の製造業者を中堅・小規模清酒製造業者(以下「中小」という。)、1,300 kl 超の製造業者を大手清酒製造業者(以下「大手」という。)と定義している。

#### 4 調査結果

##### (1) 清酒製造業者による輸出の現状

平成 28 年においては、清酒製造業者の 51.9%が清酒の輸出を行っており、うち大手は 93.9%が清酒の輸出を行っている。

前回の調査から輸出製造業者は 47 者増加し 761 者となっている。

輸出製造業者数のうち、中小が 94.0%を占めるが、輸出数量の 70.5%は大手によるものである。

※ 詳細は(10)参考計表のとおり

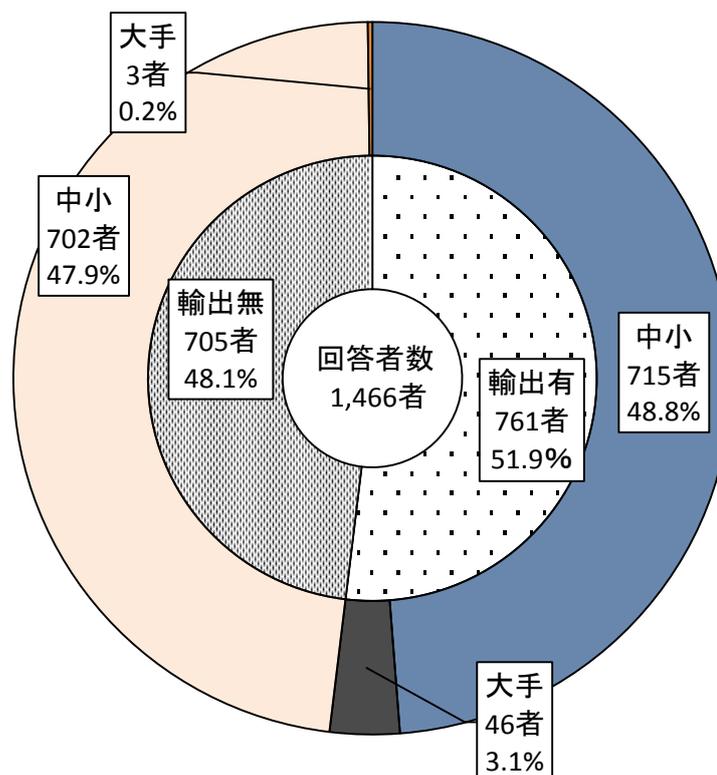
図表(1)-1 清酒製造業者による輸出の現状

	輸出製造業者(者)		清酒の輸出数量(kl)		
		構成比			構成比
中小(1,417者)	715	94.0%	5,736	(3,904)	29.5%
大手(49者)	46	6.0%	13,703	(6,752)	70.5%
合計(1,466者)	761	100.0%	19,439	(10,656)	100.0%

(注1)「輸出数量」欄の括弧内は特定名称の数量

(注2)調査対象者は1,610者(内1,466者から回答)

図表(1)-2 中小・大手区分別清酒製造業者による輸出の現状



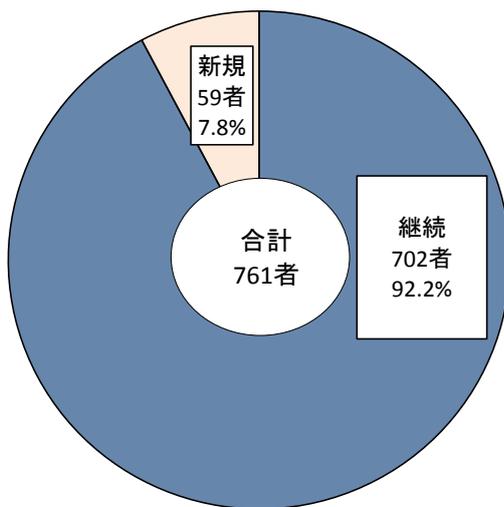
## (2) 輸出製造業者の輸出取引の継続状況

### イ 新規・継続の輸出製造業者数及び割合

平成 28 年から輸出取引を開始した者を「新規」、平成 27 年以前に輸出を開始した者を「継続」とした場合、「継続」と回答した者が 92.2%を占めている。

「新規」と回答した者は 59 者と、前回調査の 57 者より増加しており、輸出へ取り組む者が増加傾向にある。

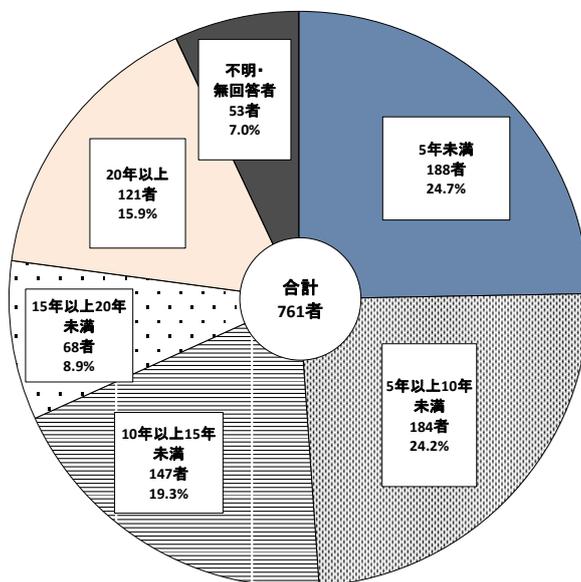
図表(2)イ 新規・継続の輸出製造業者の新規・継続の割合



### ロ 輸出取引年数別の製造業者数及び割合

輸出取引年数が5年未満の者が最も多く(24.7%)、5年以上 10年未満の者と合わせて約半数(48.9%)を占めている。

図表(2)ロ 輸出取引年数別の製造業者数及び割合

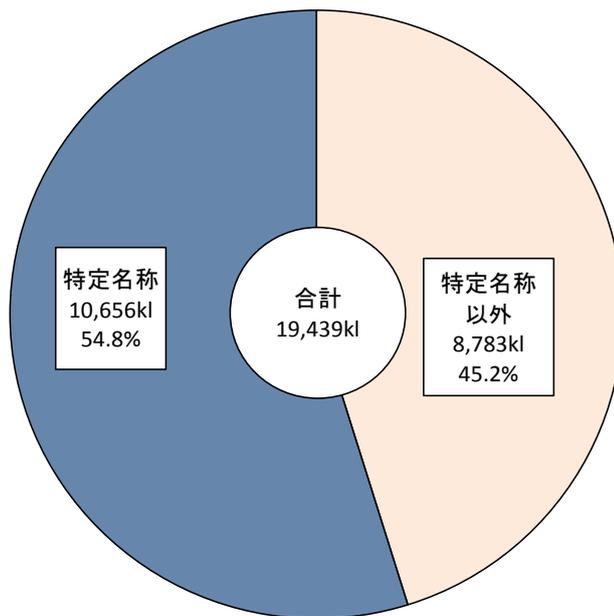


(3) 輸出数量に占める特定名称の割合

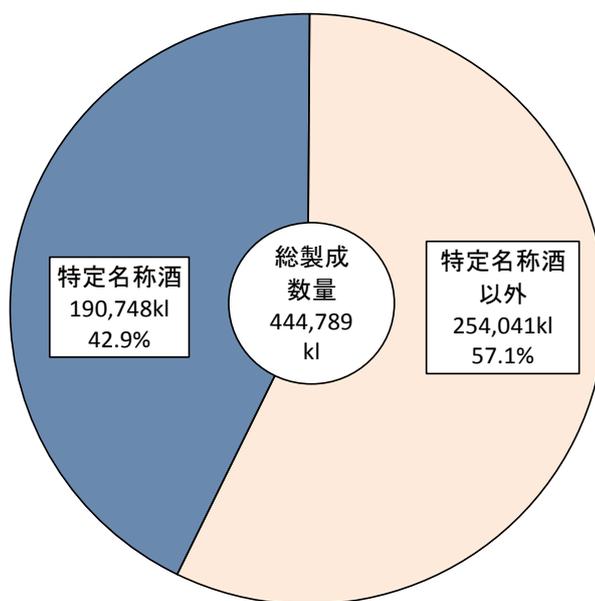
特定名称は、輸出数量の過半(54.8%)を占めている。一方、特定名称の製成数量は総製成数量の42.9%であり、輸出取引では特定名称の割合が製成数量の場合と比較して高くなっている。

なお、前回調査では輸出数量に占める特定名称の割合は58.3%であり、その割合は低下している。

図表(3) 輸出数量に占める特定名称の割合



【参考】 清酒の総製成数量に占める特定名称の割合



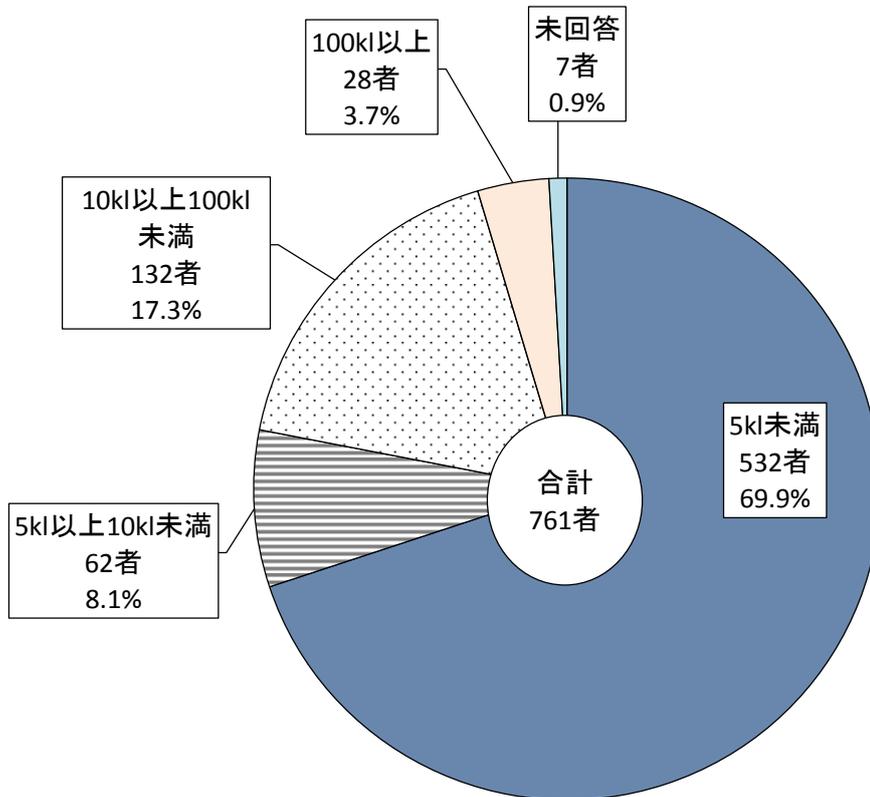
(注1) 本表は、「清酒の製造状況等について」(国税庁)による。

(注2) 平成27酒造年度(平成27年7月~平成28年6月)の数値である。

(4) 輸出数量規模別輸出製造業者の状況

輸出数量規模別で見ると、5kl未満の者が約70%を占めている一方、100kl以上の輸出を行っている者は3.8%となっている。前回の調査結果では10kl以上100kl未満の者は15.7%であったが、今回の調査では17.3%となっており、この層の割合が上昇している。

図表(4)イ 輸出数量規模別の輸出製造業者数及び割合



図表(4)ロ 各国税局(所)における輸出数量規模別輸出製造業者数

輸出数量	輸出製造業者数												合計	
	札幌	仙台	関東信越	東京	金沢	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	熊本・沖縄	(構成比)		
5kl未満	3	82	115	21	34	55	78	56	31	41	16	532	70.6%	
5kl以上10kl未満	2	15	15	4	1	5	7	6	3	0	4	62	8.2%	
10kl以上100kl未満	1	29	25	3	9	11	24	12	7	7	4	132	17.5%	
100kl以上	1	0	9	1	1	2	13	1	0	0	0	28	3.7%	
合計	7	127	167	29	45	73	125	75	41	48	24	754	100.0%	

※輸出数量につき回答の無い者もいるため、(10)参考計表と一致しない場合がある。

(参考)

清酒製造業者数	11	235	327	81	99	158	250	206	91	101	51	1,610	
---------	----	-----	-----	----	----	-----	-----	-----	----	-----	----	-------	--

※詳細は(10)参考計表のとおり

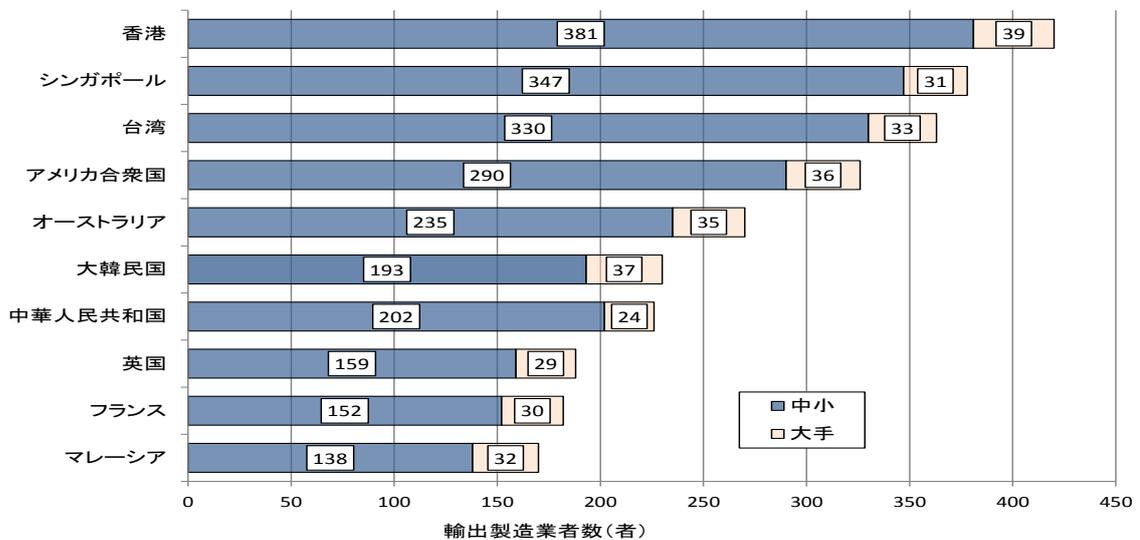
(5) 輸出先国（地域）別の輸出状況（詳細は(10)参考計表参照）

イ 輸出先国(地域)別輸出製造業者数

輸出先国(地域)別では、輸出製造業者数は、香港(420 者)、シンガポール(378 者)、台湾(363 者)の順となっており、前回調査と同様に全体としてはアジア圏への輸出を行う者が多い。

なお、前回調査では、香港(385 者)、シンガポール(328 者)、台湾(318 者)の順となっており、上位 10 カ国へ輸出を行っている者はすべて増加している。

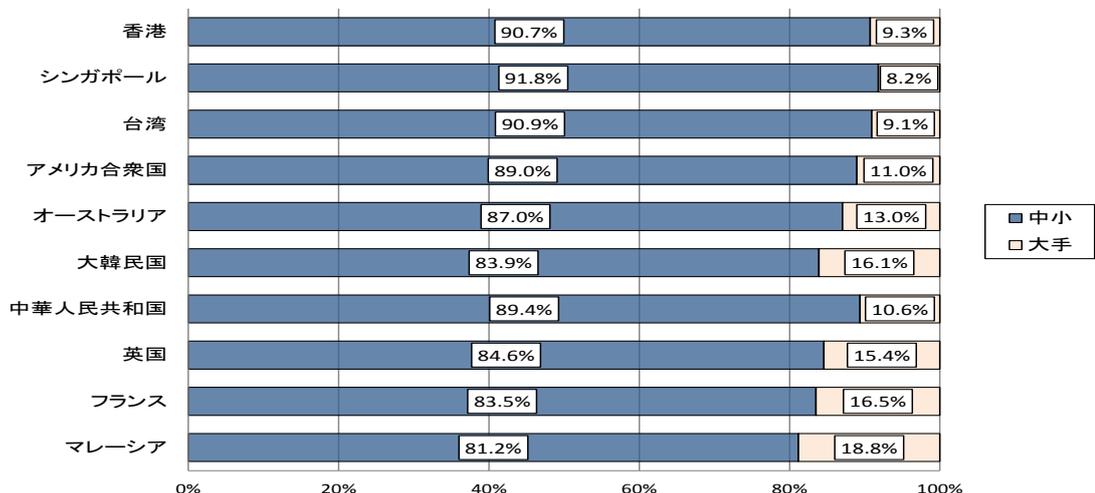
図表(5)イ 輸出先国(地域)別輸出製造業者数(上位 10 カ国)



ロ 輸出先国(地域)別輸出製造業者数(上位 10 カ国)における中小・大手の内訳

輸出先国(地域)別の中小・大手の割合をみると、前回調査と同様、大韓民国(16.1%)、英国(15.4%)、フランス(16.5%)、マレーシア(18.8%)で大手の占める割合が高くなっている。

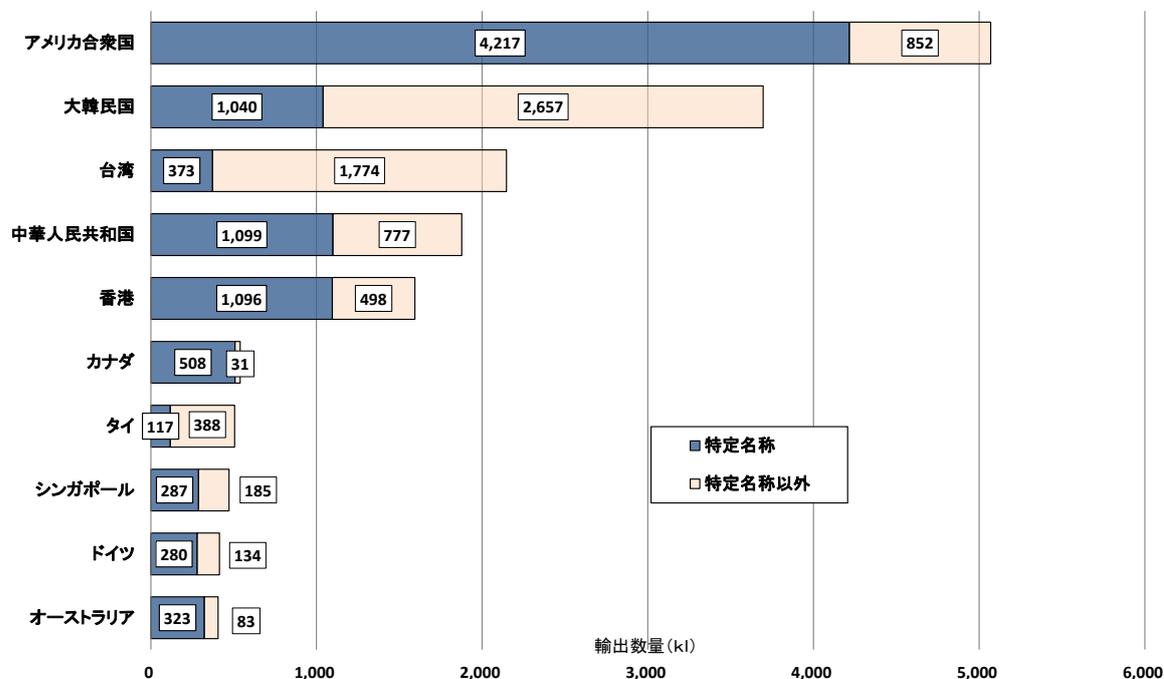
図表(5)ロ 輸出先国(地域)別輸出製造業者数(上位 10 カ国)における中小・大手の内訳



## ハ 輸出先国(地域)別輸出数量(上位 10 カ国)

輸出先国(地域)別の輸出数量は、前回調査と同様、アメリカ合衆国(5,070kl)、大韓民国(3,696kl)、台湾(2,147kl)の順となっており、上位3カ国で全体(19,439kl)の56.1%(10,914kl)、上位5カ国で74.0%(14,385kl)を占めている。

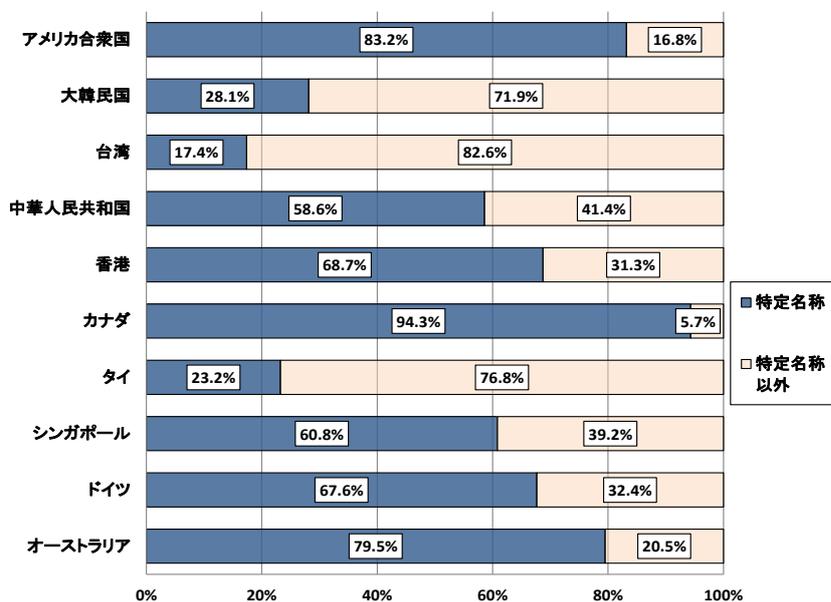
図表(5)ハ 輸出先国(地域)別輸出数量(上位 10 カ国)



## ニ 輸出先国(地域)別輸出数量(上位 10 カ国)における特定名称の割合

国(地域)別の特定名称の割合をみると、アメリカ合衆国、カナダでは特定名称が80%以上を占め、大韓民国、台湾及びタイでは特定名称以外が70%以上を占めている。

図表(5)ニ 輸出先国(地域)別輸出数量(上位 10 カ国)における特定名称の割合



(6) 輸出に関する認識調査

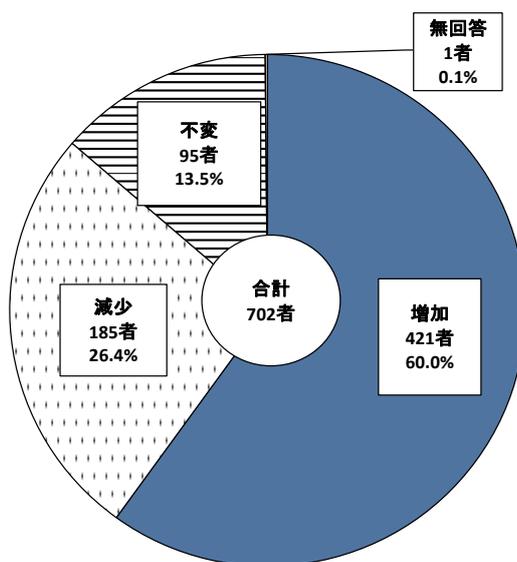
輸出製造業者に対し、輸出に対する認識を調査した。

イ 輸出数量の増減

輸出製造業者のうち「継続」と回答した 702 者に平成 27 年と比較した輸出数量の増減について質問したところ、増加と回答した者は 421 者、減少と回答した者は 185 者であった。

なお、前回調査と比較して「増加」の割合が 59.4%から 60.0%へ微増し、「減少」の割合が 27.2%から 26.4%へと減少しており、引き続き輸出が増加傾向にある。

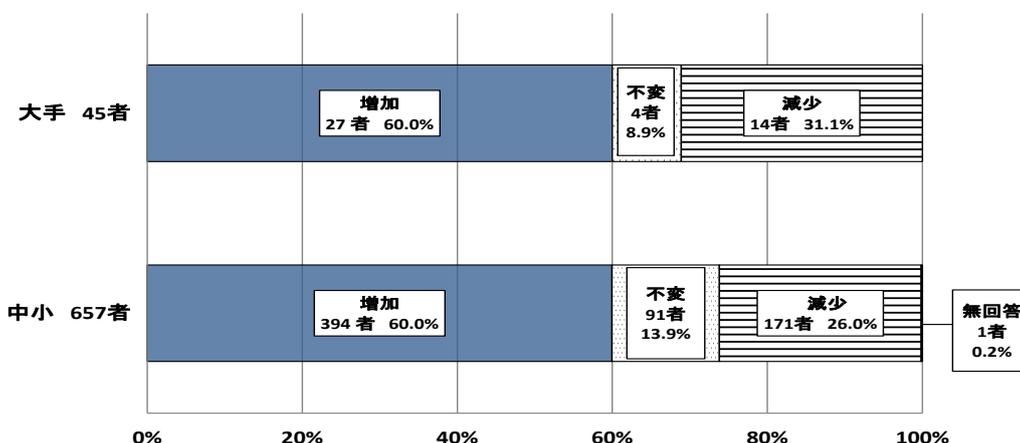
図表(6)イ 輸出数量の増減



ロ 中小・大手別の輸出数量の増減の内訳

中小・大手別の輸出数量の増減を比較すると、増加と回答した者の割合は中小と同じであるが、減少と回答した者の割合は中小よりも大手が多い結果となった。

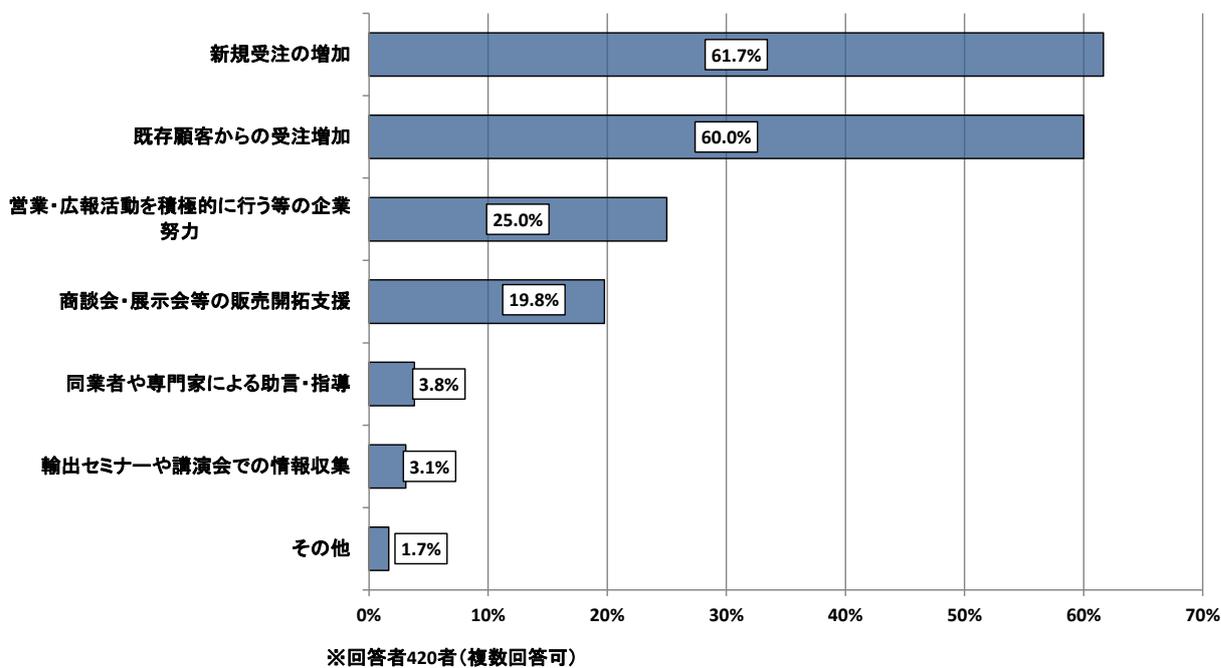
図表(6)ロ 大手・中小別の輸出数量の増減の内訳



## ハ 輸出が増加した理由

(6)イで「増加」と回答した者の理由としては、「新規受注の増加」と「既存顧客からの受注増加」との回答がともに60%以上と、高い割合になっている。

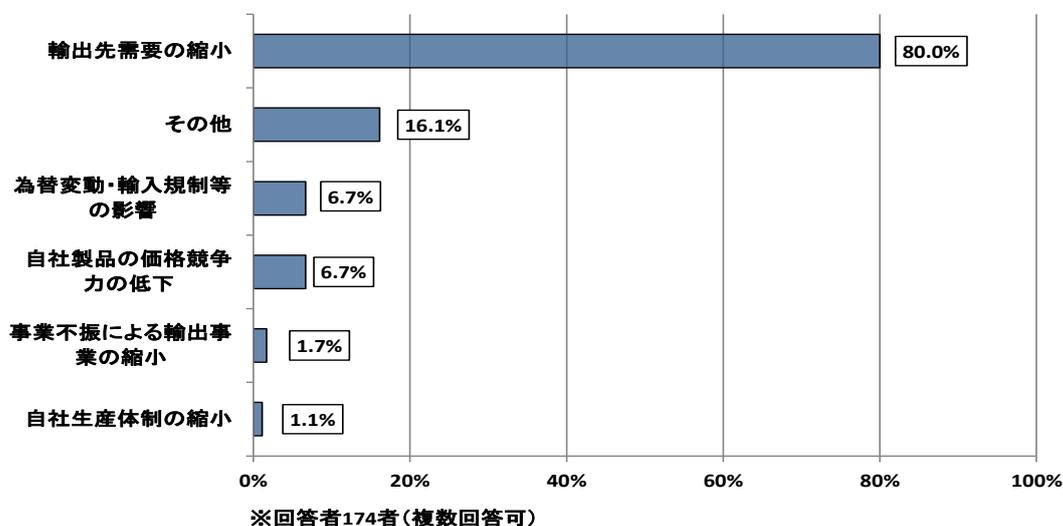
図表(6)ハ 輸出が増加した理由



## ニ 輸出が減少した理由

(6)イで「減少」と回答した者の理由としては、「輸出先需要の縮小」が80.0%と最も多く、「為替変動・輸入規制等の影響」や「自社生産体制の縮小」の6.7%等を大きく上回っている。

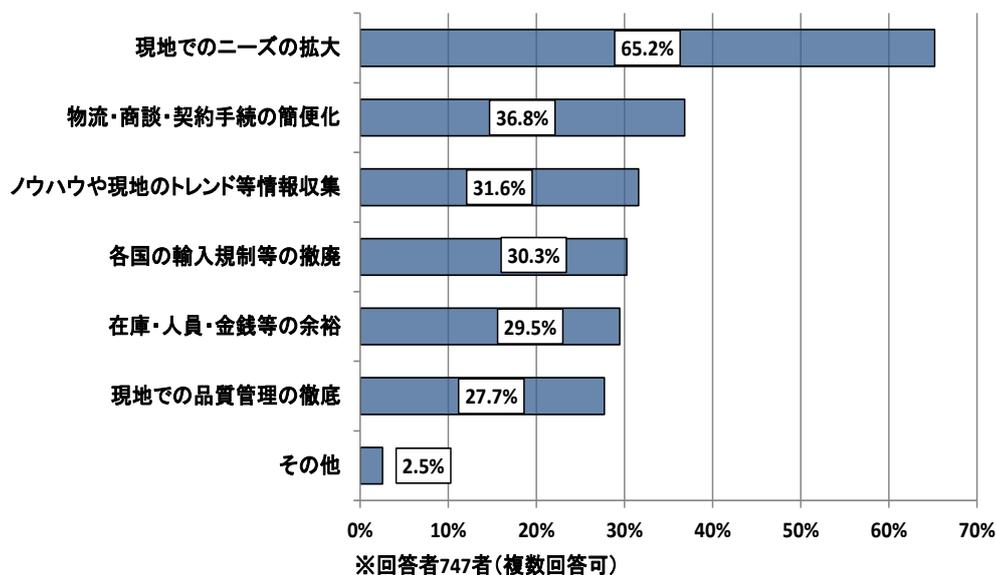
図表(6)ニ 輸出が減少した理由



ホ 今後、輸出量を増加させるために必要な事項

輸出製造業者(747 者)が今後輸出を増加させるために必要と考える事項として「現地でのニーズの拡大」との回答が 65.2%と最も多く、その他の事項は 30%前後の回答にとどまっている。

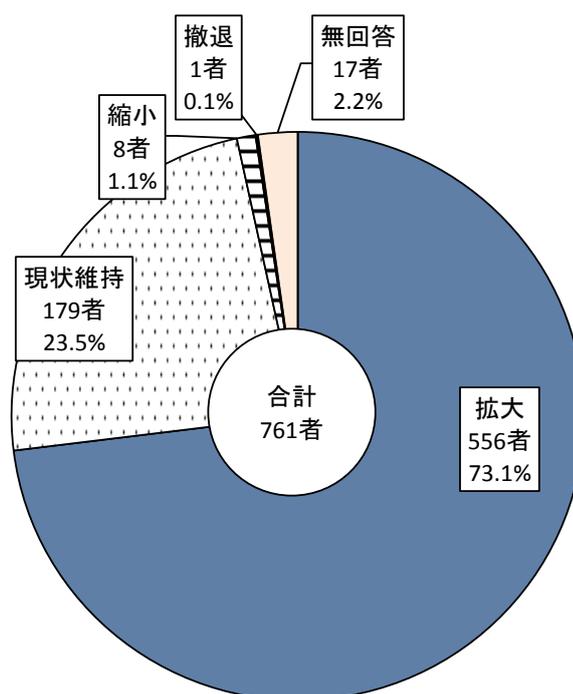
図表(6)ホ 今後、輸出量を増加させるために必要な事項



へ 輸出業者の今後の輸出の意向

今後の輸出の意向は、「拡大」と回答した者が 70%を超え、「現状維持」と合わせると 95%以上となっている。

図表(6)へ 今後の輸出の意向



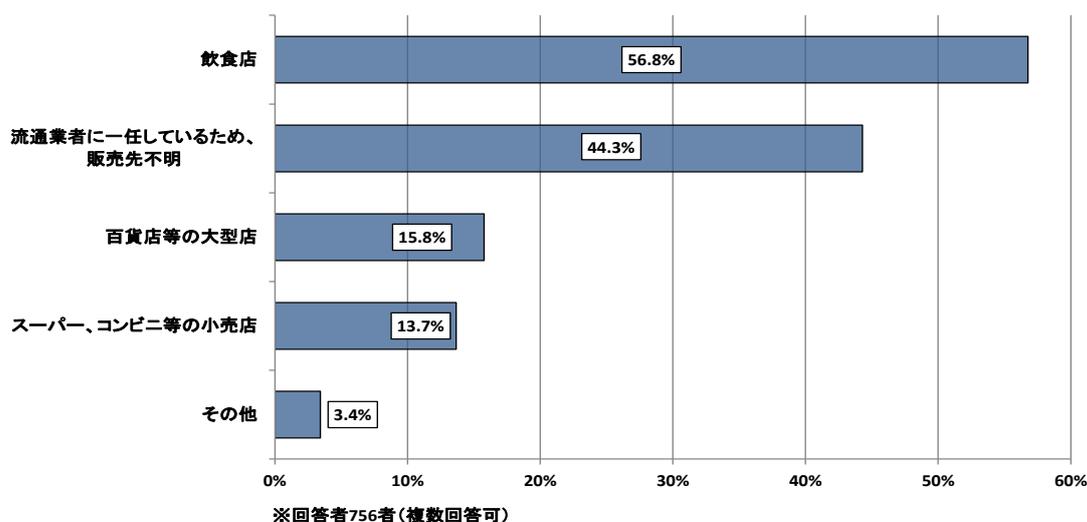
### (7) 輸出先国での販売先及び輸出の流通経路

輸出製造業者に対し、輸出先国での主な販売先と輸出の際の主な流通経路を調査した。

#### イ 輸出先国での主な販売先

輸出先国での販売先としては「飲食店」と「流通業者に一任している」の2つの回答が、他の回答よりも高い割合になっている。

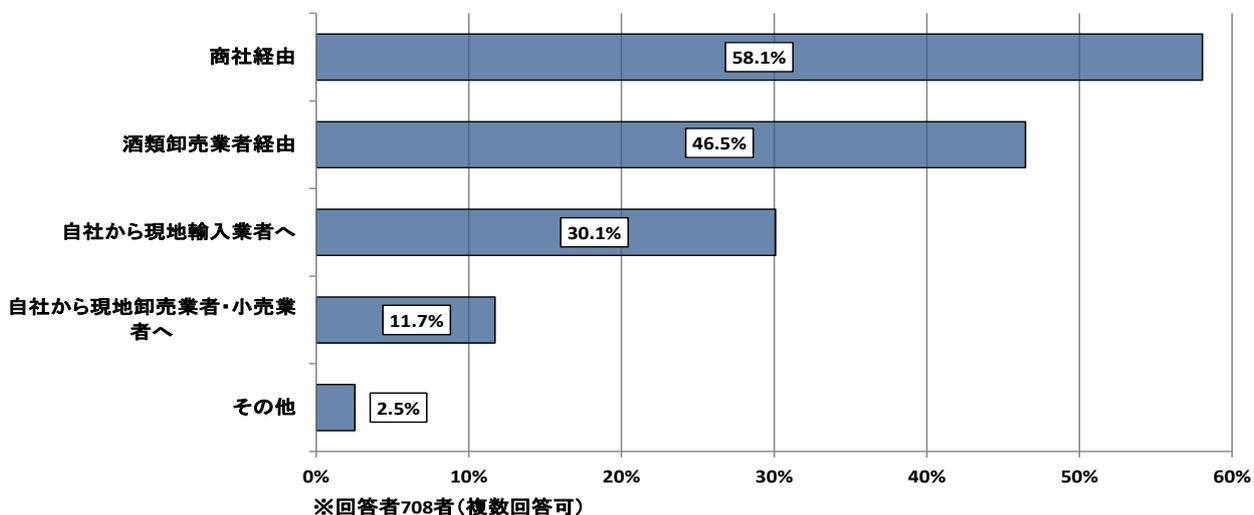
図表(7)イ 輸出先国での販売先



#### ロ 主な流通経路

輸出の流通経路としては、「商社経由」の 58.1%や「酒類卸売業者経由」の 46.5%が高い割合である一方、「自社から現地輸入業者へ」や「自社から現地卸売業者・小売業者へ」は低い割合となっている。

図表(7)ロ 輸出の流通経路



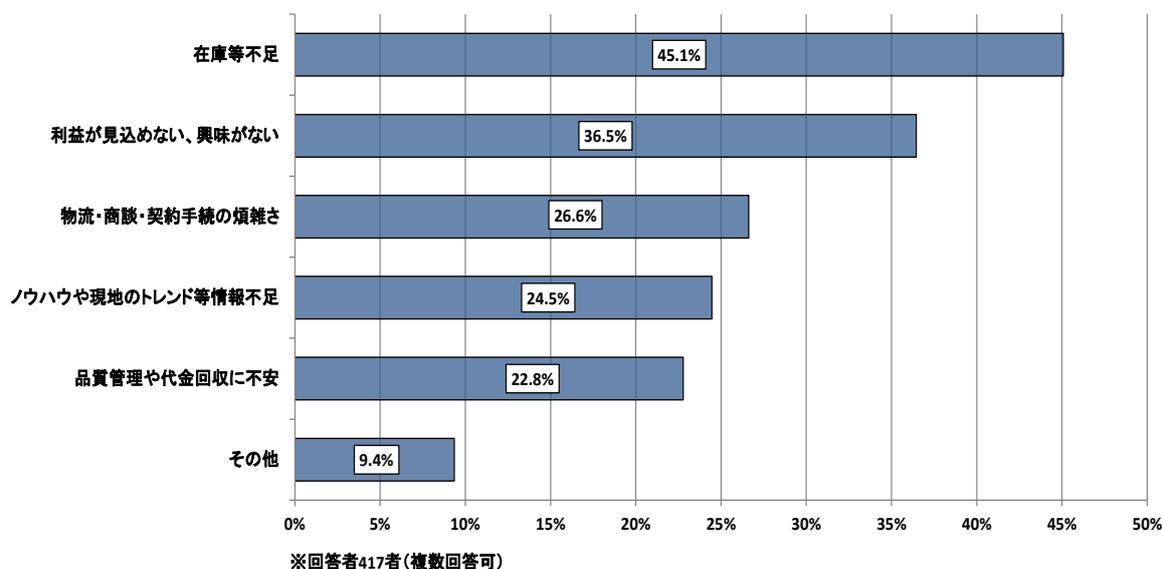
(8) 今後の輸出開始(再開)の意向

清酒の輸出を平成 28 年中に行っていないと回答した 705 者(平成 27 年以前は輸出有 89 者含む)に対し、輸出への意向について調査した。

イ 輸出を取り止めた又は行わない理由

輸出を取り止めた又は行わない理由としては、「在庫等不足」が最も多く、次いで「利益が見込めない・興味がない」となっている。

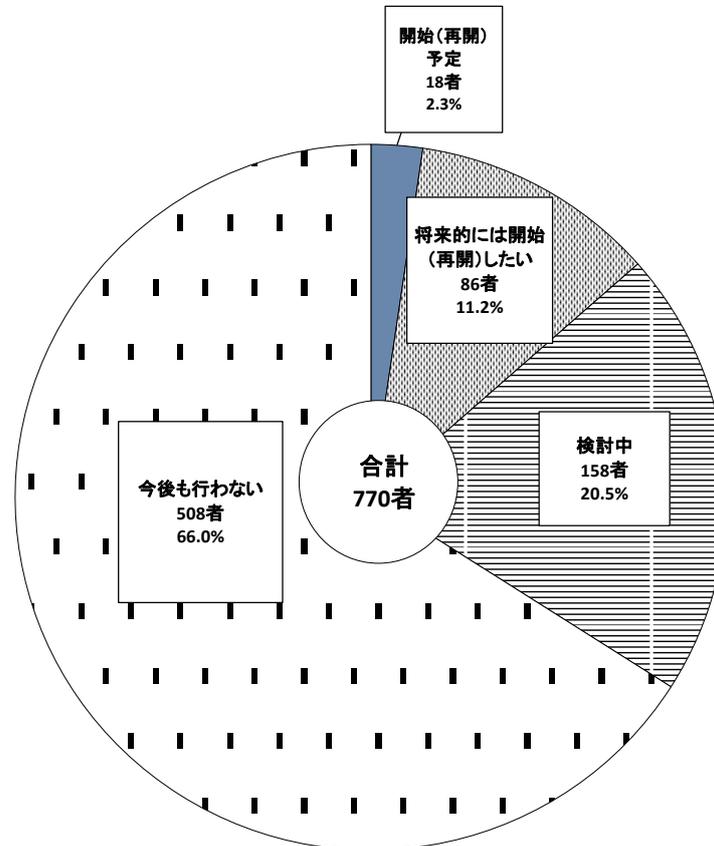
図表(8)イ 輸出を取り止めた又は行わない理由



□ 輸出を行っていない酒類製造業者の今後の輸出の意向

輸出を平成 28 年中に行わなかった酒類製造業者の今後の輸出の意向については、「今後も行わない」が 60%以上で最も多く、次いで「検討中」となっている。

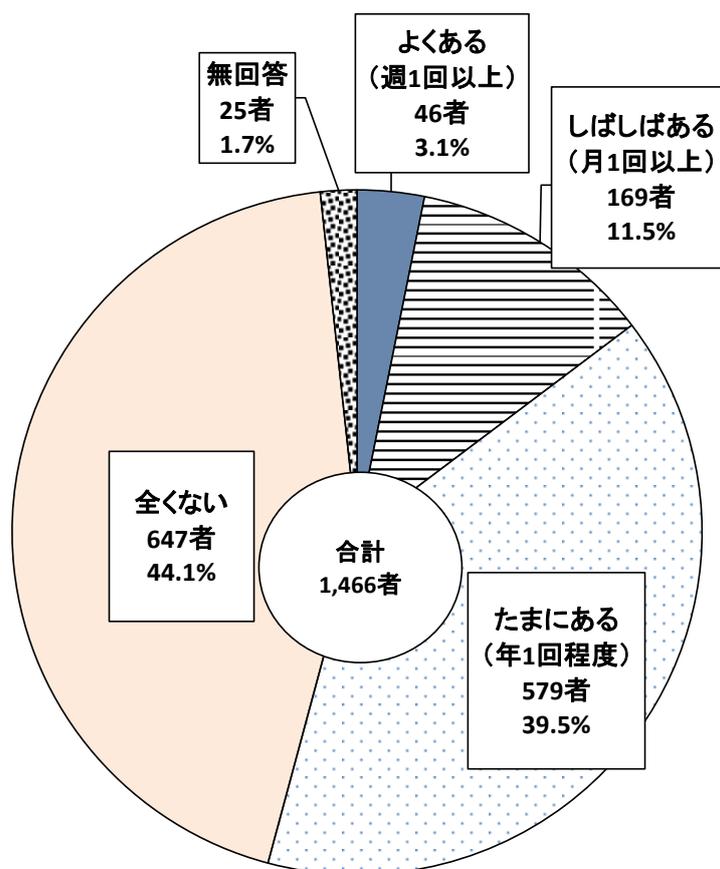
図表(8) □ 輸出を行っていない酒類製造業者の今後の輸出の意向



(9) 訪日外国人に対する清酒の販売

全清酒製造業者を対象として、訪日外国人に対する清酒の販売に関する調査をした結果、訪日外国人の自社への見学・来訪の頻度については、「全くない」と「たまにある(年1回程度)」が合わせて80%以上であり、「よくある(週1回以上)」と「しばしばある(月1回以上)」を大きく上回っている。

図表(9) 訪日外国人の自社への見学・来訪



(10) 参考計表

平成28年 清酒の輸出製造業者数及び輸出数量(都道府県別)

局名	都道府県別	輸出製造業者数	参考		輸出数量		
			清酒製造業者数	構成比		内特定名称酒	特定名称酒割合
		者	者	%	Q	Q	%
札幌	北海道	7	11	63.6	201,847	197,549	97.9
仙台	青森	9	20	45.0	120,783	49,003	40.6
	岩手	13	22	59.1	141,966	138,547	97.6
	宮城	16	30	53.3	126,722	116,122	91.6
	秋田	28	41	68.3	269,683	215,506	79.9
	山形	35	55	63.6	405,683	330,141	81.4
	福島	26	67	38.8	156,501	118,924	76.0
	計	127	235	54.0	1,221,338	968,243	79.3
関東	茨城	19	50	38.0	91,600	71,669	78.2
	栃木	17	37	45.9	775,880	109,866	14.2
	群馬	11	27	40.7	35,052	29,182	83.3
	埼玉	12	35	34.3	156,769	57,511	36.7
	新潟	69	92	75.0	2,245,308	1,518,602	67.6
	長野	39	86	45.3	282,722	243,000	86.0
	計	167	327	51.1	3,587,331	2,029,830	56.6
東京	千葉	10	39	25.6	70,126	18,508	26.4
	東京都	6	16	37.5	162,978	14,125	8.7
	神奈川	5	13	38.5	6,572	2,596	39.5
	山梨	8	13	61.5	42,603	19,125	44.9
	計	29	81	35.8	282,279	54,354	19.3
金沢	富山	11	22	50.0	39,420	30,871	78.3
	石川	20	39	51.3	177,564	162,888	91.7
	福井	14	38	36.8	294,690	287,536	97.6
	計	45	99	45.5	511,674	481,295	94.1
名古屋	岐阜	24	51	47.1	98,772	40,391	40.9
	静岡	16	28	57.1	218,923	212,757	97.2
	愛知	20	44	45.5	459,829	79,317	17.2
	三重	13	35	37.1	34,440	33,392	97.0
	計	73	158	46.2	811,964	365,857	45.1
大阪	滋賀	20	48	41.7	46,552	46,378	99.6
	京都	31	46	67.4	3,339,131	1,100,711	33.0
	大阪府	6	18	33.3	7,113	6,091	85.6
	兵庫	40	77	51.9	7,629,838	4,043,616	53.0
	奈良	20	39	51.3	403,063	332,740	82.6
	和歌山	8	22	36.4	65,919	43,007	65.2
	計	125	250	50.0	11,491,616	5,572,543	48.5
広島	広島	12	22	54.5	71,815	63,631	88.6
	島根	15	34	44.1	100,535	97,788	97.3
	岡山	14	52	26.9	66,694	54,680	82.0
	広島山	20	54	37.0	241,748	198,582	82.1
	山口	14	44	31.8	172,851	172,291	99.7
	計	75	206	36.4	653,643	586,972	89.8
高松	徳島	7	23	30.4	37,242	23,850	64.0
	香川	4	7	57.1	13,538	10,394	76.8
	愛媛	15	43	34.9	21,952	19,375	88.3
	高知	15	18	83.3	97,188	94,907	97.7
	計	41	91	45.1	169,920	148,526	87.4
福岡	福岡	22	59	37.3	251,943	97,474	38.7
	佐賀	16	26	61.5	107,868	87,702	81.3
	長崎	10	16	62.5	7,013	5,127	73.1
	計	48	101	47.5	366,824	190,303	51.9
熊本・沖縄	熊本	7	12	58.3	76,918	30,748	40.0
	大分	16	35	45.7	63,809	29,839	46.8
	宮崎	×	2	×	×	×	×
	鹿児島	×	1	×	×	×	×
	沖縄	×	1	×	×	×	×
	計	24	51	47.1	140,867	60,587	43.0
	総計	761	1,610	47.3	19,439,303	10,656,059	54.8

(注1)表中の「×」は、情報を保護する観点から計数を秘匿したものである。

(注2)本調査の数値は対象者の任意回答によるものであり、通関時の数量ではないため、財務省貿易統計の数値とは異なる場合がある。

平成28年 清酒の主な輸出先国(地域)

順位	国(地域)	輸出製造業者数	輸出数量		
			内特定名称酒	特定名称酒割合	
		者	kl	kl	%
1	香港	420	1,594	1,096	68.7%
2	シンガポール	378	472	287	60.8%
3	台湾	363	2,147	373	17.4%
4	アメリカ合衆国	326	5,070	4,217	83.2%
5	オーストラリア	270	406	323	79.5%
6	大韓民国	230	3,697	1,040	28.1%
7	中華人民共和国	226	1,877	1,099	58.6%
8	英国	188	343	190	55.3%
9	フランス	182	186	113	61.0%
10	マレーシア	170	219	94	42.8%
11	タイ	168	505	117	23.2%
12	ドイツ	127	414	280	67.6%
13	カナダ	116	539	508	94.3%
14	オランダ	102	189	82	43.2%
15	スイス	89	39	26	67.8%
16	イタリア	87	318	123	38.6%
17	ベトナム	73	294	124	42.4%
18	ニュージーランド	73	99	40	40.4%
19	インドネシア	67	45	31	69.0%
20	ベルギー	63	31	20	63.0%
計	138国(地域)	761	19,439	10,656	54.8%

(注1) 順位は輸出製造業者数が多い順としている。

(注2) 本調査の数値は対象者の任意回答によるものであり、通関の数量ではないため、財務省貿易統計とは異なる場合がある。

(注3) 回答した輸出製造業者は761者であるが、複数国への輸出を回答している者もいるため、回答数の合計とは一致していない。

平成28年 国税局(所)別清酒の主な輸出先国・地域(総輸出数量)

(単位:0)

国・地域 国税局(所)	アメリカ 合衆国	大韓民国	台湾	中華人民 共和国	香港	カナダ	タイ	シンガポール	ドイツ	オーストラリア	その他	合計
札幌国税局	119,923 (59.4%)	7,438 (3.7%)	17,540 (8.7%)	14,972 (7.4%)	8,432 (4.2%)	3,657 (1.8%)	1,403 (0.7%)	5,675 (2.8%)	173 (0.1%)	9,679 (4.8%)	12,955 (6.4%)	201,847 (100.0%)
仙台国税局	539,294 (44.2%)	139,231 (11.4%)	65,257 (5.3%)	74,789 (6.1%)	96,113 (7.9%)	20,469 (1.7%)	14,710 (1.2%)	47,854 (3.9%)	8,392 (0.7%)	36,298 (3.0%)	178,931 (14.7%)	1,221,338 (100.0%)
関東信越国税局	958,456 (26.7%)	1,340,344 (37.4%)	157,805 (4.4%)	644 (0.0%)	402,412 (11.2%)	60,357 (1.7%)	36,087 (1.0%)	73,313 (2.0%)	26,510 (0.7%)	72,121 (2.0%)	459,282 (12.8%)	3,587,331 (100.0%)
東京国税局	109,821 (38.9%)	5,454 (1.9%)	24,689 (8.7%)	2,745 (1.0%)	16,474 (5.8%)	896 (0.3%)	48,803 (17.3%)	9,976 (3.5%)	815 (0.3%)	2,015 (0.7%)	60,591 (21.5%)	282,279 (100.0%)
金沢国税局	138,937 (27.2%)	18,608 (3.6%)	30,579 (6.0%)	98,723 (19.3%)	108,181 (21.1%)	13,397 (2.6%)	10,490 (2.1%)	12,396 (2.4%)	3,675 (0.7%)	16,431 (3.2%)	60,257 (11.8%)	511,674 (100.0%)
名古屋国税局	194,275 (23.9%)	121,258 (14.9%)	29,731 (3.7%)	195,129 (24.0%)	122,678 (15.1%)	13,168 (1.6%)	13,391 (1.6%)	15,871 (2.0%)	2,492 (0.3%)	13,832 (1.7%)	90,139 (11.1%)	811,964 (100.0%)
大阪国税局	2,638,326 (23.0%)	1,828,735 (15.9%)	1,751,426 (15.2%)	1,226,229 (10.7%)	733,482 (6.4%)	412,968 (3.6%)	355,258 (3.1%)	270,007 (2.3%)	360,985 (3.1%)	215,676 (1.9%)	1,698,524 (14.8%)	11,491,616 (100.0%)
広島国税局	224,782 (34.4%)	35,732 (5.5%)	39,811 (6.1%)	135,962 (20.8%)	71,729 (11.0%)	5,197 (0.8%)	8,320 (1.3%)	13,673 (2.1%)	6,058 (0.9%)	23,455 (3.6%)	88,924 (13.6%)	653,643 (100.0%)
高松国税局	57,989 (34.3%)	18,618 (11.0%)	8,672 (5.1%)	22,467 (13.3%)	7,412 (4.4%)	3,033 (1.8%)	3,893 (2.3%)	10,624 (6.3%)	1,796 (1.1%)	7,038 (4.2%)	27,678 (16.4%)	169,220 (100.0%)
福岡国税局	76,200 (20.8%)	143,341 (39.1%)	14,574 (4.0%)	69,917 (19.1%)	16,939 (4.6%)	3,733 (1.0%)	12,807 (3.5%)	9,438 (2.6%)	3,245 (0.9%)	3,300 (0.9%)	13,330 (3.6%)	366,824 (100.0%)
熊本国税局 沖縄国税事務所	11,718 (8.3%)	38,050 (27.0%)	7,307 (5.2%)	34,992 (24.8%)	10,371 (7.4%)	2,142 (1.5%)	162 (0.1%)	3,622 (2.6%)	255 (0.2%)	6,395 (4.5%)	25,853 (18.4%)	140,867 (100.0%)
合計	5,069,721 (26.1%)	3,696,809 (19.0%)	2,147,391 (11.0%)	1,876,569 (9.7%)	1,594,223 (8.2%)	539,017 (2.8%)	505,324 (2.6%)	472,449 (2.4%)	414,396 (2.1%)	406,240 (2.1%)	2,716,464 (14.0%)	19,438,603 (100.0%)

(注)本調査の数値は対象者の任意回答によるものであり、通関の数量ではないため、財務省貿易統計とは異なる場合がある。

平成28年 国税局(所)別清酒の主な輸出先国・地域(特定名称割合)

(単位:0)

国税局(所)	国・地域		アメリカ 合衆国	大韓民国	台湾	中華人民 共和国	香港	カナダ	タイ	シンガポール	ドイツ	オーストラリア	その他	合計
	輸出数量 (特定名称割合)	輸出数量 (特定名称割合)												
札幌国税局	119,923 (100.0%)	7,438 (100.0%)	17,540 (80.3%)	14,972 (98.9%)	8,432 (96.6%)	3,657 (100.0%)	1,403 (100.0%)	5,675 (98.8%)	173 (100.0%)	9,679 (100.0%)	12,955 (97.5%)	201,847 (97.9%)		
仙台国税局	539,294 (77.7%)	139,231 (57.8%)	65,257 (86.3%)	74,789 (82.8%)	96,113 (95.6%)	20,469 (77.0%)	14,710 (87.0%)	47,854 (97.7%)	8,392 (98.9%)	36,298 (96.1%)	178,931 (78.2%)	1,221,338 (79.3%)		
関東信越国税局	958,456 (96.2%)	1,340,344 (13.5%)	157,805 (54.2%)	644 (99.4%)	402,412 (88.3%)	60,357 (70.0%)	36,087 (80.5%)	73,313 (86.8%)	26,510 (55.1%)	72,121 (84.0%)	459,282 (60.2%)	3,587,331 (56.6%)		
東京国税局	109,821 (19.3%)	5,454 (98.9%)	24,689 (20.8%)	2,745 (83.8%)	16,474 (13.6%)	896 (100.0%)	48,803 (0.8%)	9,976 (21.8%)	815 (87.7%)	2,015 (68.0%)	60,591 (20.6%)	282,279 (19.3%)		
金沢国税局	138,937 (98.3%)	18,608 (87.5%)	30,579 (84.1%)	98,723 (85.9%)	108,181 (98.8%)	13,397 (91.1%)	10,490 (87.4%)	12,396 (97.7%)	3,675 (86.1%)	16,431 (92.1%)	60,257 (98.3%)	511,674 (94.1%)		
名古屋国税局	194,275 (79.1%)	121,258 (36.8%)	29,731 (66.3%)	195,129 (14.0%)	122,678 (44.7%)	13,168 (74.9%)	13,391 (39.9%)	15,871 (91.1%)	2,492 (67.6%)	13,832 (61.6%)	90,139 (28.5%)	811,964 (45.1%)		
大阪国税局	2,638,326 (79.3%)	1,828,735 (35.0%)	1,751,426 (6.6%)	1,226,229 (57.9%)	733,482 (51.8%)	412,968 (99.3%)	355,258 (12.9%)	270,007 (39.9%)	360,985 (67.2%)	215,676 (71.1%)	1,698,524 (39.8%)	11,491,616 (48.5%)		
広島国税局	224,782 (93.6%)	35,732 (78.5%)	39,811 (66.3%)	135,962 (97.7%)	71,729 (97.5%)	5,197 (100.0%)	8,320 (88.4%)	13,673 (95.0%)	6,058 (98.4%)	23,455 (98.8%)	88,924 (72.7%)	653,643 (89.8%)		
高松国税局	57,989 (100.0%)	18,618 (76.3%)	8,672 (73.7%)	22,467 (52.6%)	7,412 (97.1%)	3,033 (91.0%)	3,893 (100.0%)	10,624 (95.8%)	1,796 (85.1%)	7,038 (99.1%)	27,678 (92.4%)	169,220 (87.8%)		
福岡国税局	76,200 (96.0%)	143,341 (11.6%)	14,574 (87.5%)	69,917 (58.5%)	16,939 (97.8%)	3,733 (97.7%)	12,807 (15.7%)	9,438 (87.8%)	3,245 (43.9%)	3,300 (91.4%)	13,330 (89.5%)	366,824 (51.9%)		
熊本国税局 沖縄国税事務所	11,718 (99.7%)	38,050 (16.2%)	7,307 (67.4%)	34,992 (35.3%)	10,371 (28.9%)	2,142 (100.0%)	162 (100.0%)	3,622 (96.3%)	255 (100.0%)	6,395 (97.7%)	25,853 (39.3%)	140,867 (43.0%)		
合計	5,069,721 (83.2%)	3,696,809 (28.1%)	2,147,391 (17.4%)	1,876,569 (58.6%)	1,594,223 (68.7%)	539,017 (94.3%)	505,324 (23.2%)	472,449 (60.8%)	414,396 (67.6%)	406,240 (79.5%)	2,716,464 (48.4%)	19,438,603 (54.8%)		

(注)本調査の数値は対象者の任意回答によるものであり、通関の数量ではないため、財務省貿易統計とは異なる場合がある。